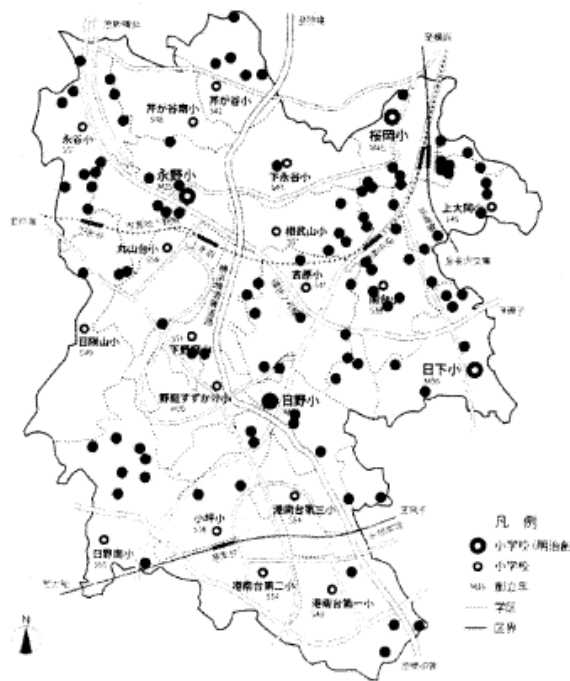


江戸時代前半港南区地域は大半が天領となり、代官が配置された。後半には旗本や大名の私領化して行った。江戸時代の文献によれば武蔵国 10 村と相模国 4 村で構成し、約 2500 人ほどが大岡川水系(武蔵国) 柏尾・永谷川水系(相模国)の僅かな低地に住み、豊かとはいえない農村生活を営んでいた。

下に江戸時代の村(左図)と江戸時代に建てられた石塔石仏分布(右図)を示した

江戸
徳川



第3図 「江戸時代の村々」